

病院薬剤師確保の現状と取り組み

の野 じま よし あき さ の ち あき ふ の よし ひと
 野 島 慶 明¹⁾ 佐 野 千 晶²⁾ 布 野 慶 人²⁾
 なか はた のり こ よし おか みち こ たに ぐち えい さく
 中 畑 典 子²⁾ 吉 岡 みち子²⁾ 谷 口 栄 作²⁾

キーワード：地域医療，薬剤師，人材確保

要 旨

【目的】 島根県内の病院薬剤師確保と取り組みの状況を明らかにする。

【方法】 島根県内（以下，県内という）全病院53施設を対象にして無記名自記式のアンケート調査を実施した。

【結果】 回収率は43施設（81.1%）であった。30施設（69.8%）の病院で薬剤師が不足しており，回答施設の薬剤師充足率（現薬剤師数/必要薬剤師数×100）は平均で74.3%であり，合計89人の薬剤師が不足していた。また，37施設（86.0%）の病院が薬剤師を確保するための取り組みを実施していた。

【考察】 将来に向けて薬剤師不足を認識している病院ならびに病床規模の大きい病院が薬剤師確保に積極的に取り組んでいる傾向がみられた。

背 景

近年，日本において医薬分業が進み，薬局薬剤師の需要が高まっている。また病院薬剤師が院内死亡率の減少¹⁾，有害副作用の抑制²⁾，医療費の抑制に寄与する³⁾等といった報告や，薬剤師による病棟業務の必要性が増えたこと等により，病院薬剤師の需要も薬局薬剤師同様に増えている。

また，平成11年度には薬科大学（薬学部）46校で入学定員数は7,720人であったが，それ以降徐々

に大学数とともに入学定員数も増え，平成28年度には73大学で13,034人（4年制の1,489人を含む）となり，現在までの17年間で薬剤師養成数が1.69倍になった。このことは薬剤師国家試験合格率により若干増減があるものの，毎年10,000人前後の薬剤師が新たに社会に輩出され，今後も増加傾向が継続することを意味する⁴⁻⁶⁾。

一方，県内の病院では，薬剤師確保が困難な現状がある。しかしながら，医師，看護師の確保状況や取り組みに関する報告に比較して，薬剤師確保に関する報告はきわめて少ない。そこで，県内病院における薬剤師確保の現状と確保に向けた取り組みについて調査を行った。

Eisaku TANIGUCHI et al.

1) 隠岐病院 2) 島根大学医学部地域医療支援学

連絡先：〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

島根大学医学部地域医療支援学講座